

2013年 5月17日

# 未来への扉

高等特別支援学校 支援部 第49号



GWも終わり、学校生活も流れに乗ってきました。いよいよ来週から、春の実習ですね。1年生は校内実習&特別実習があります。「働く」ということの意味や意義を感じ取って欲しいと思います。2年生は先生の引率が徐々になくなりますが、自分で判断し責任を持って行動できるよう頑張ってもらいたいと思います。3年生はもう就職活動の入り口です。しっかりと

と気を引き締めて、就職へと意識をシフトする時期ですね。

さて、今回の「未来への扉」は、毎年本校で新入生対象に行っている WISC-Ⅲ（ウィスク・スリー）の検査についてのお話です。



## WISC-Ⅲのおはなし

### <WISC-Ⅲって何?>

そもそも、WISC-Ⅲとはどういった検査で、何が分かるのでしょうか。

WISC-Ⅲは5歳~16歳を対象とした知能検査で、13種の様々な検査項目から成ります。大きく「言語性検査」（耳から入った言語情報を認知し処理する力を測る）と「動作性検査」（目から入った情報を認知し処理する力を測る）とに分けることができます。

13種類の検査の結果を分析することで、様々な情報の認知や処理、記憶、運用の癖を知ることができます。例えばざっくりと「耳からの言語情報を理解するのは苦手だが、視覚的な情報の処理は得意」という傾向が分かったり、その中でも「具体的な言語情報はわかりやすいが、抽象的な言語概念が理解しづらい」とか「記号や符号、形などを正確に捉えられるが、絵や写真の意味を正

しく理解するのが苦手」など、いろいろな傾向が分かります。

### <何のために検査をするの?>

本校で行う検査の目的は、「個々に適した支援方法を探るため」です。

IQの数値を出したり、何らかの診断を下すための検査ではありません。認知の癖を知り、得意な分野を生かしながら不得意な分野に適切な支援を行うために、本校では新入生全員対象に WISC-Ⅲの検査を行っています。

「診断」「判定」を目的とした検査については、医療機関や判定機関での有資格者による検査が必要です。本校での検査は診断や判定の資料となるものではありませんので、ご留意下さい。

### <結果をどう生かすの?>

まず、個人情報としての検査結果は、学校での支援・指導に生かすという目的以外で使用されないよう、厳正に管理しています。その上で、支援部が作成した個別のアセスメントを日常の支援・指導に生かせるよう、職員全体で情報共有・交換しています。

例えば「目からの情報を処理する能力に優れるが、耳からの言語的な情報の処理が苦手」というアセスメントがあったとすると、「視覚的な情報を添える」「簡潔・具体的な言語を用いる」「話を聞く場面では事前に意識を引きつけ、不要な視覚刺激を取り除く」等、様々な支援方法が考えられます。そういった、ある程度の目安を持ち

ながら、実際には個々人の実情に合ったより有効な支援策を日常の中で探り当てていくということになります。

「視覚支援は有効やけど、文字だけやと分かりにくいようやったわ」「絵や写真を見せたら、違う解釈しとったで」「見本見せたら一発で理解しよったけど、教師の説明やアドバイス聞かんと勝手に作業進めよるんや」等、日常の試行錯誤・情報交換を経て、本当に役に立つ「支援」にたどり着くのだと思います。



### <注意しなければならないことは?>

WISC-Ⅲの検査から分かることは、ほんの一部です。支援・指導に役立つ情報もちろんたくさん得られますが、生まれ持った特性と環境や経験等様々な要因が複雑に絡み合っただけの「現在」ですので、WISC-Ⅲの結果のみにとらわれてしまうと、本来の目的である「この人のための支援」にたどり着けなくなります。検査結果はあくまで目安であり、中心に据えられるのは「人」でなければなりません。

また、検査の結果というものには誤差が含まれます。検査時の本人の心身の状況によっても結果は左右されるものです。検査の結果を絶対的なものと勘違いし、「検査でこう出ているから、きっとこの子はこうに違いない!」と子どもを検査結果に当てはめようとしてはいけません。



どんな人にも多かれ少なかれ「癖」「個性」「特性」はあります。努力で緩和される程度の癖があれば、努力だけではどうにもできない特性もあるでしょう。しかしそこに「理解」と「工夫」がプラスされることで「生きやすさ」へと繋がっていくケースがたくさんあるのだということも私たちは知っています。

入学時にご案内したとおり、ご希望の保護者の方には子どもさんの WISC-Ⅲの検査結果（プロフィール表、プロフィール分析表）をお渡ししております。その際、誤解を避けるために敢えてアセスメントはお渡ししておりませんが、支援部から検査結果の解釈について直接ご説明させていただくこともできますので、必要に応じて支援部までご連絡下さい。



(聳城)